

夏の海にご用心！ハブクラゲにご注意を

沖縄の海には、猛毒を持つハブクラゲが生息しています。海水浴、マリンスポーツ等で海への出入りが多くなる6月初めごろから、ハブクラゲは人体へ影響を及ぼす大きさに急激に成長します。そのため、この時期は刺症被害が多くなります。

県では6月から9月まで「ハブクラゲ注意報」を発令し、注意を呼び掛けています。

ハブクラゲ刺症を未然に防ぐには

- ①海水浴する場合は、ハブクラゲ侵入ネットの内側で泳ぎましょう。
- ②遊泳時はできるだけ肌の露出を避けましょう。
- ③海に出かける際は酢（食酢）を持参しましょう。



ハブクラゲに刺された場合は

- ①まず海から上がり、近くにいる人に助けを求めましょう。
- ②刺された場所をこすらずに、酢（食酢）をたっぷりかけて触手を取り除いた後、氷や冷水で冷やしましょう。
- ③応急処置をし、医療機関で治療を受けるようにしましょう。



それはゴミですか資源ですか？



正しい分別でゴミが資源に生まれ変わります

限りある資源を有効的・持続的に使用するため、ゴミを減らす（リデュース）・繰り返し使う（リユース）・再資源化する（リサイクル）ことが重要です。家庭や職場から出る資源ゴミをただしく分別することにより、効率的に品質の高いリサイクルを行うことができます。

下記の方法を参考に、適正な分別、リサイクル品質向上のためご協力をお願いいたします。

ペットボトルの捨て方

- ①キャップとラベルを取って、中身を空にする。
※キャップ・ラベルは燃えるゴミへ
- ②ペットボトルを軽く水ですすぐ
- ③半透明又は透明な袋に入れて捨てる



ビン類の捨て方

- ①キャップ類を取る（スチール・アルミの場合は、資源ゴミとして缶類へ）
- ②ビンを軽く水ですすぐ
- ③半透明又は透明袋に入れて捨てる



その他の資源ゴミ

- ①カン類及び食品トレイ類も種類ごとに分別し、軽くすいで透明袋等で捨てる



※可燃ゴミ・不燃ゴミ・粗大ゴミ・危険ゴミの捨て方につきましても、分別表（家庭ゴミ正しい分け方・出し方）をご確認いただき適切な分別をよろしくお願いします。

分別表はこちらから→
町公式 LINE からも
ご覧いただけます。



お問い合わせ 環境保全課 TEL:985-7126